

平成二十六年四月投句

【河内池（あじさいの湯）】

横座る五指のソックス花の宴

寮生の頃の話も薔薇の卓

孫の手からかがみしばばに花吹雪

勝利

駒鳥の鳴き交す音に歩をゆるめ

光子

四月馬鹿子はアメリカに移住すと

山の湯へ届く郵便金鳳花

花ミモザキリン届かぬ高さまで

花を呼ぶ関西弁の九官鳥

新興の街新しき花名所

佳与子

鳥追いの竹の女に花吹雪

真理子

羽ばたける鳩花屑を舞ひ上げて

水音のくぐもるあたり初蛙

食卓を窓に片寄せ春惜しむ

花好きな父満開の花に逝き

谷沿ひの石楠花コース人増えて

節子

教え子に囲まれ通夜の春灯

由紀子

古池の鯉春水を動かして

山の湯の径の日向に春惜しむ